

一般社団法人日本循環器看護学会

令和2年度事業計画 (令和2年8月～令和3年7月)

常設委員会	事業計画
学術	1. 日本の循環器看護領域の学術的発展の推進のあり方の検討を目的とした海外の循環器看護に関連する会との交流(The Global Cardiovascular Nurse Leadership Forum (GCNLF)など) 2. 循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた検討 (1) 循環器看護の定義の公表 (2) 循環器看護の定義の検証(研究的取り組みを含む) 3. 教育セミナーのあり方の検討および教育セミナーの開催 (1) 教育セミナーの内容の検討(セミナーの内容の体系化 診療報酬との連動を意識した研修内容の検討など) (2) 教育セミナーの実施方法の検討(e-learningやWEBセミナー含む) (3) (1)(2)を踏まえた教育セミナーの開催の計画と実施
学会誌編集	1. 日本循環器看護学会誌年2回(第16巻第1号,第16巻第2号)の発行、第17巻第1号の発刊準備 2. 電子投稿システム・査読システムの運用の評価と改善(継続) 3. 専任査読委員増員検討(継続) 4. 投稿原稿の活性化へ向けての対策の検討(継続) ・第17回学術集会での委員会セミナー(投稿論文作成や査読の受け方等)・相談会の開催 ・投稿規定(投稿者の条件等)の検討の継続 ・学会誌オンライン化へ向けた情報収集
政策・診療報酬	2022年度診療報酬改定にむけて循環器看護分野からの医療技術、診療体制等についての提案準備 医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外(看護系学会社会保険連合等) 心不全患者の再入院予防にむけた取り組みの実際や成果について情報収集 ①第17回日本循環器看護学会学術集会の交流集会 ②事務局管理のwebを用いた実態調査
広報	1. 学会ホームページ 会員専用コンテンツの充実 2. 会員の研究・臨床実践活動に関する広報活動推進 3. ニュースレターの発行
倫理	1. 申請のあった研究に対して、規定に基づき倫理審査を行う 2. 個人情報保護に関する問題が生じた場合に対応を行う 3. 本学会の研究に関する「利益相反指針」を運用する 4. 学術集会活動における「利益相反指針」の細則を作成し、運用する 5. 一般社団法人日本循環器看護学会倫理綱領に関する問題が生じた場合に対応を行う
国内交流	1. 本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流をはかる。 (1)関連法人、学会、研究会とのジョイントシンポジウムの企画、およびジョイントシンポジウム開催の承認、座長の推薦等を行う。 (2)新たな関連法人、学会、研究会とのジョイントシンポジウムの開催後の座長、演者の意見をもとに今後の交流について検討する。問題が生じた場合は、直ちに委員会で検討し、解決を図る。 2. 関係諸団体との本法人の窓口となる
選挙管理	1. 法人第4期における選挙にむけた計画 ・令和3年度開催(選挙は2022年開催) 理事・監事選挙にむけたスケジュール計画 ・WEB選挙導入後評価と次回選挙への準備 2. WEB選挙導入による細則の評価
総務	1. 各委員会の活動支援、調整 2. 理事会、社員総会、会員総会の運営補助 3. 会員獲得に関する事業(会員ニーズweb調査) 4. 定款、規定の評価・見直し 5. 若手研究者の研究助成事業